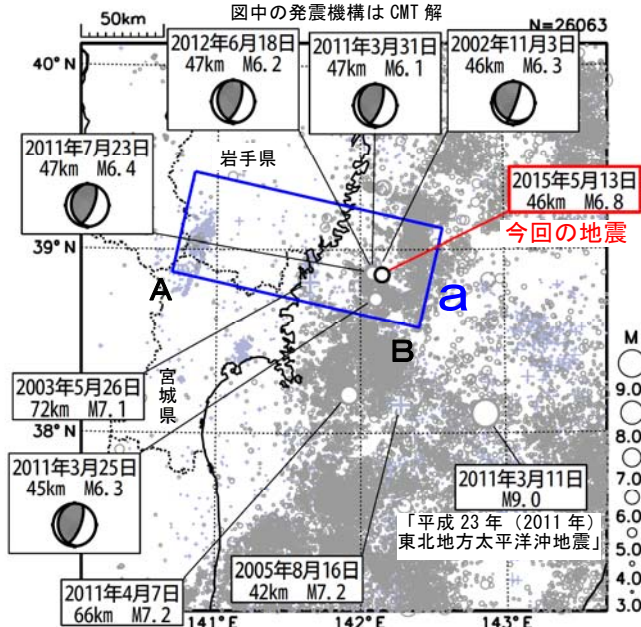


5月13日 宮城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年5月13日、
深さ0～100km、M \geq 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○
今回の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解

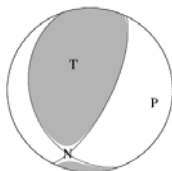


2015年5月13日06時12分に宮城県沖の深さ46kmでM6.8の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

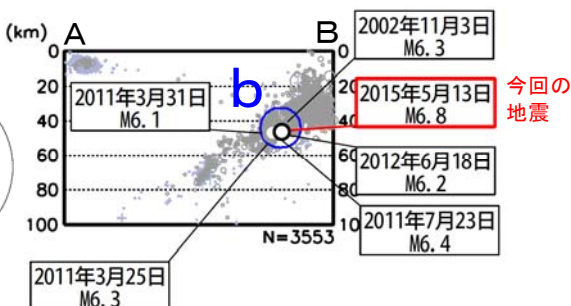
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前は、2002年11月3日にM6.3の地震 (最大震度5弱) が発生した他は、M3～M4程度の地震が1年に数回発生する程度であったが、東北地方太平洋沖地震以降は地震活動が活発になった。2011年7月23日には、M6.4の地震 (最大震度5強) が発生し、住家の一部破損2棟等の被害を生じた (総務省消防庁による)。東北地方太平洋沖地震以降、M6.0以上の地震は今回の地震を含めて5回発生しており、今回の地震が最大規模であった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1978年6月12日に「1978年宮城県沖地震」 (M7.4) が発生するなど、M7.0以上の地震が時々発生している。

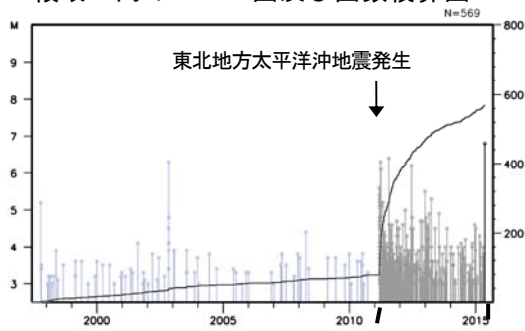
今回の地震の
発震機構解
(CMT解)



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2015年5月13日、
深さ0～150km、M \geq 6.0)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

